

# まごころだより

2020. 1月号

このところ例年に比べ暖かな日が続いていて、個人的にはこんな穏やかな冬は何をするにしてもやりやすく、ずっとこの状態が続けば良いな等と思っていました。そんな気持ちを持っていたところで、ある利用者へ送迎中の会話で「この冬は雪が降らなくていいですね、ずっとこのままだったらいいのにな」と話し掛けると「なんで、いいの?」「だって雪が積もったら道が滑りやすいし、歩きづらいでしょ」と言う。「雪とはそういうものなんだと、その分いつもより気を付けて歩いたり、運転すればいいでしょ」と返され「そうかも知れないけど大勢の人は雪がない方がいいと思っているはずですよ」と言う。「それは違う。雪や雨はやがて川の流れとなって田畑を潤す。そのおかげで美味しい米や梨やリンゴやブドウができる。農業を営む人にとってはとても大切なものなんだ。雪なんか要らないなどと言う人は身勝手すぎる」と朝から見事にやられてしまいました。しかしそうなんですよね。自分の立場にすれば不必要なものでも、他の人にしたら大切なものかもしれないわけですから、一概に否定はできないものです。介護にしても同じことがいえるかも知れません。老人にすれば大事にしている物でも若者には不必要であったり、したい事をしようとしているだけなのに無用だと止められてしまい、結局なにもなくなって寝てばかりの生活になってしまったと言うことは時々聞く話です。それぞれ違う性格、違う人生を歩いてこられた高齢者が今何をもとめているのかどうしてほしいのか、それを知るにはその方と会話することでしかないと思います。人の気持ちはそんなに簡単に知り得るものではありませんが、繰り返しお話をすることによりその中でヒントをつかまえられることがあります。中には雲をつかむような話もありますが自分の話を聞いてくれたとそれだけで喜ばれる方もおられます。お手伝いをお願いすると最初は嫌だしできないとおっしゃるが無理強いせずにいると、その方のほうから手伝ってもらえるようになったりします。始めからその方の中に入り込んでいくのではなく、時間をかけて自然な形で一緒に手伝ってもらえるようにするのも大切な接し方だと思います。また雪の話になりますが、山に積もった雪や雨は地面に浸透し、長い時間を経て美味しい地下水になり地上にわき出てきますが、人との付き合いもそれに似たところがないでしょうか。お互いに信頼できるお付き合いで満足感を得て頂けたらと思います。



\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
**1月行事の予定**  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*  
8日 (水) 小物づくり  
13日 (土) 前畑さんの演奏で歌いましょう  
21日 (火) 三味線演奏で民謡と踊り  
23日 (木) 惣菜・菓子づくり  
27日 (月) 食事会  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*